

## 施工状況等報告書

平成 28 年 7 月 28 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様  
小諸市長 小泉 俊博 様  
御代田町長 茂木 祐司 様  
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内  
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合  
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

### 記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	平成 28 年 4 月 1 日から 平成 28 年 6 月 30 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	敷地造成工事は、6 月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った（別紙添付資料のとおり）。施設本体設計工事は、平成 28 年 4 月 28 日付で入札参加表明を締切り、同 6 月 27 日付で提案書の提出を受付けた。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間：平成28年4月1日～平成28年6月30日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類	
植 物	ヤエガワカンバ	成木・稚樹の移植	4月12日に移植個体の樹木活力度調査を実施。花穂（雄花）がでて、順調に活着している。	写真ヤエー1	
			5月2日に移植個体の樹木活力度調査を実施。花穂（雄花）がでて、展葉が始まっている。	写真ヤエー2	
			6月3日に移植個体の樹木活力度調査を実施。展葉が進み、十分に茂っている。	写真ヤエー3	
			6月24日に造成工事に伴う支障木伐採により、ヤエガワカンバ成木の倒木防止用ロープを結んでいたカラマツも伐採対象であったため、伐採後に伐採木（フジ）の根に結び直した。	写真ヤエー4	
		種子保存及び 播種・育苗	4月12日に播種後の状況確認。プランターの幼木6個体は樹高が0.6～8.7cmで、8.7cmの個体には芽生えが確認された。床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー5, 6	
			5月2日に播種後の状況確認。プランターの幼木6個体は樹高が1.8～12.1cmに伸長。プランターからポットへの移し替えを行った。床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー7	
			6月3日に播種後の状況確認。ポットの幼木6個体は樹高が2.9～15.4cmに伸長。床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー8	
			成木の移植	4月12日に移植個体の樹木活力度調査を実施。全ての個体で芽吹きと花芽を確認した。	写真オニー1
				5月2日に移植個体の樹木活力度調査を実施。ほとんどの個体で開花と結実を確認した。	写真オニー2
				6月3日に移植個体の樹木活力度調査を実施。ほとんどの個体で結実が少ない。	写真オニー3
	6月15日に造成工事に伴う支障木伐採作業中に、支障木に絡みついたフジ蔓が落下して、オニヒョウタンボクNo.8を直撃し、地上70cm程度の所から主幹が折れたため、状況確認を行った。オニヒョウタンボクNo.8は一番活力度が高く、萌芽もたくさん見られることから、損傷した主幹を切断し、切断部分より下の萌芽が成長して復活することを期待した。	写真オニー4			
	6月24日に移植個体の状況確認。昨年5月に駆除を実施したアブラムシは今年度は発生していない。果実が赤く熟していた。	写真オニー5			
	挿し木及び 生育管理	4月12日に挿し木（H28.3.30実施）後の状況確認。H28.3.30に発根促進剤を用いて新たな挿し木を行い、芽吹きを確認（発根は未確認）。なお、H27.11.12に実施した挿し木（発根促進剤未使用）は芽吹いていない。		写真オニー6	
		5月2日に挿し木（H28.3.30実施）後の状況確認。展葉を確認した。	写真オニー7		
		6月3日に挿し木（H28.3.30実施）後の状況確認。挿し木の一部の葉先に枯れた部分が見られる。発根は未確認。	写真オニー8		
		種子保存及び 播種・育苗	4月12日に播種した種子の状況確認。プランター蒔きで芽生え8個体、床蒔きで芽生え3個体を確認した。	写真オニー9, 10	
	5月2日に播種した種子の状況確認。播種した種子の状況確認。プランター蒔きで芽生え10個体（2個体増加）、床蒔きで芽生え1個体（2個体減少）を確認した。		写真オニー11, 12		
	6月3日に播種した種子の状況確認。播種した種子の状況確認。プランター蒔きで芽生え9個体（1個体減少）、床蒔きで芽生え1個体を確認。		写真オニー13, 14		

# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

植 物	ギンラン	(追加項目) 個体の移植	5月17日に生育個体の確認を実施。 平成27年度移植場所においてギンランの生育は確認できない。 事業予定地境界から約4mの事業予定地内に平成28年度の新たなギンラン1個体の生育を確認した。	写真ギン-1, 2
			5月23日に有識者（長野県植物研究会会長・中山洸氏）に平成28年度新規確認のギンランを確認していただいた。	写真ギン-3
			6月3日に平成28年度の新たなギンラン生育地と平成27年度移植場所の状況確認を行った。平成28年度のギンランは花期を過ぎており、平成27年度移植場所には新たなギンランの生育は確認できない。	写真ギン-4
			6月6日に平成28年度に新たに確認されたギンランの個体及び個体周辺の土壌の移植実施。 移植は平成27年度の移植方法と同様に、大型の鋼管及び鋼管の底部に入れる鉄板を用いて、バックホーにより移植作業を慎重に行い、ギンランの個体や土壌への損傷もなく、無事に平成27年度移植先の直近へ移植が完了した。	写真ギン-5, 6
ノジトラノオ	(追加項目) 個体の保全	5月23日に生育個体を確認。 事業実施区域に隣接する林縁部（改変区域外）にノジトラノオ（環境省レッドリスト2014の絶滅危惧Ⅱ類(VU)、長野県レッドリスト2014の絶滅危惧Ⅱ類(VU)）の生育（3個体）を確認した。事業実施による影響は少ないと考えられるが、踏みつけ等防止のために周辺の枯れ木等の除去や柵囲いを施すこととした。	写真ノジ-1	
		5月26日にノジトラノオ自生地（改変区域外）周辺の枯れ木等除去及び柵囲い作業を実施。	写真ノジ-2	
		6月3日にノジトラノオ自生地（改変区域外）の状況確認。 ノジトラノオの生育に異常は見られない。	写真ノジ-3	
動 物	ベニモンマダラ	生息基盤（クサフジ）の移植	5月2日にクサフジの追加移植。 昨年11月に整備して播種したベニモンマダラ移植先（平尾用水左岸法面）のクサフジの生育状態が悪いことから、ベニモンマダラ生息地及び佐久スキーガーデンパラダのスキー場内からクサフジの苗263株を採取して、ベニモンマダラ移植先に補植した。 ベニモンマダラ移植先へのクサフジ補植に先立ち、移植先の草刈りと外来種の選択的駆除を行った。 昨年度に播種したクサフジの芽生えがわずかに確認された。	写真ベニ-1～4
			5月17日にクサフジの追加移植。 ベニモンマダラ移植先へ5月2日に移植したクサフジに枯死個体が見られるため、2回目の追加移植を行った（クサフジの苗46個体）。	写真ベニ-5～7
			5月23日にベニモンマダラ（幼虫）の移植作業。 移植元から21個体の幼虫を移植先（平尾用水左岸法面）に移植した。有識者（長野県植物研究会会長・中山洸氏）にクサフジ移植に対してのアドバイスを受けた。	写真ベニ-8～10
			5月31日にベニモンマダラ（幼虫）の移植作業。 121個体の幼虫を移植元から採取して、移植先（平尾用水左岸法面）のクサフジの生育が不良であることから、代替移植先としてクサフジが自生している佐久スキーガーデンパラダのスキー場グレンデに76個体、「県道草越豊昇佐久線」脇法面のクサフジ自生地に45個体を移植した。	写真ベニ-11～13
			6月3日に播種後のクサフジの状況確認。 平成27年12月2日にポットへクサフジ播種後の状況確認を行い、クサフジの実生6個体を確認した。	写真ベニ-14
			6月10日にベニモンマダラ（幼虫）の追加移植作業。 移植元から17個体の幼虫を捕獲し、佐久スキーガーデンパラダのスキー場グレンデへ全個体を移植した。今回の移植作業により幼虫をほぼ捕獲し尽くしたと考えられるため、幼虫の移植作業を今回で終了とした。	写真ベニ-15
バクツリコイウロ	生息基盤の移植	6月24日に移植先の生息個体確認調査。 対象事業実施区域南東側の移植先においてクリイロベッコウの生貝1個体、死貝1個体を確認し、対象事業実施区域北東側の移植先ではクリイロベッコウの死貝を2個体確認した。	写真クリ-1～4	

# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

動物	(ハチクマ、希少猛禽類、ハイタカ、ノスリ)	追加調査の実施	<p>5月10日に定点観察及び営巣確認を実施。                      定点観察によりハチクマ2例、ノスリ5例、ハヤブサ1例を確認。注目行動としてはハチクマのディスプレイ飛翔、ノスリのコール（鳴き声）や餌運搬、探餌のための止まりを確認した。                      N1ではノスリ面替ペアによる使用が確認されたが、これ以外では古巣の使用は確認されなかった。</p>	写真モウ-1, 2
			<p>5月11日に定点観察を実施。                      定点観察によりハチクマ1例、ハイタカ2例、ノスリ7例、ハヤブサ1例を確認した。注目行動としてはノスリの探餌止まりやディスプレイ飛翔、コール、餌運搬、林内消失、ハンティングが確認された。</p>	写真モウ-3
			<p>6月3日に伐採工事に先立つ周辺林の古巣確認調査及び営巣確認。                      対象事業実施区域の支障木伐採工事に先立ち、周辺林を踏査して古巣の確認を行った。調査の結果、伐採工事の影響を受けない場所で新たな古巣1箇所、環境影響評価時に確認済みの古巣N6を確認したが、いずれも猛禽類の使用はなかった。                      N1ではノスリの雛を確認し、順調に繁殖を継続していることが確認された。</p>	写真モウ-4
			<p>6月13日に定点観察及び営巣確認を実施。                      定点観察による猛禽類の確認はなかった。                      過年度のハチクマ繁殖巣N8およびN9を観察したが、ハチクマの使用は確認されなかった。</p>	写真モウ-5
			<p>6月14日に定点観察を実施。                      定点観察によりハチクマ10例、ノスリ2例、ハヤブサ1例を確認した。注目行動ではハチクマのディスプレイ飛翔、ノスリの探餌止まりやハンティング、コール、ハヤブサの餌運搬を確認した。                      ハチクマは多数の出現が確認されたことから、さらに追加調査を行うこととした。</p>	写真モウ-6
大気質		伐木・伐根に用いたバックホウ等の重機は、排出ガス対策型建設機械を使用し、大気汚染の低減に努めた。	p. 38 使用機械写真	
騒音		伐木・伐根に用いたバックホウ等の重機は、低騒音型建設機械を使用し、騒音の低減に努めた。	p. 38 使用機械写真	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H28.4.12
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)  花穂(雄花)がでて、順調に活着している。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	H28.5.2
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)  花穂(雄花)がでて、展葉が始まっている。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	H28.6.3
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)  展葉が進み、十分に茂っている。	

## 環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ヤエガワカンバ</td> </tr> </table>	保全対象種	ヤエガワカンバ
保全対象種	ヤエガワカンバ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ヤエ-4</td> </tr> </table>	写真番号	ヤエ-4
写真番号	ヤエ-4		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.6.24</td> </tr> </table>	撮影日	H28.6.24
撮影日	H28.6.24		
	<p>造成工事に伴う支障木伐採により、ヤエガワカンバ成木の倒木防止用ロープを結んでいたカラマツも伐採対象であったため、伐採後に伐採木(フジ)の根に結び直した。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ヤエガワカンバ</td> </tr> </table>	保全対象種	ヤエガワカンバ
保全対象種	ヤエガワカンバ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ヤエ-5</td> </tr> </table>	写真番号	ヤエ-5
写真番号	ヤエ-5		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.4.12</td> </tr> </table>	撮影日	H28.4.12
撮影日	H28.4.12		
	<p>播種の実施12ヶ月後の状況(プランターへの播種)</p> <p>ヤエガワカンバの幼木(赤テープの6箇所)</p> <p>樹高は0.6~8.7cm。 樹高8.7cmの幼木は芽生えている。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ヤエガワカンバ</td> </tr> </table>	保全対象種	ヤエガワカンバ
保全対象種	ヤエガワカンバ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ヤエ-6</td> </tr> </table>	写真番号	ヤエ-6
写真番号	ヤエ-6		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.4.12</td> </tr> </table>	撮影日	H28.4.12
撮影日	H28.4.12		
	<p>播種の実施12ヶ月後の状況(床蒔き)</p> <p>7月に実生を確認したが消失した。枯れたものと思われる。新たな実生も確認できない。</p>		

# 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-7
	撮影日	H28.5.2
<p>平成27年播種育苗個体のポットへの移し替え</p> <p>プランターの幼木6個体は樹高が1.8～12.1cmに伸長。プランターからポットへの移し替えを行った。</p>		
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-8
	撮影日	H28.6.3
<p>平成27年播種育苗個体のポットへの移し替え後の状況確認</p> <p>ポットの幼木6個体は樹高が2.9～15.4cmに伸長。</p>		

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	H28.4.12
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)  オニヒヨウタンボクNo.1 芽吹き、花芽もできている。	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	H28.5.2
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)  オニヒヨウタンボクNo.1 ハモグリバエの跡あり。開花、 結実。	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	H28.6.3
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)  オニヒヨウタンボクNo.1 ハモグリバエの跡あり。結実 少ない。	



## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	H28.6.15
	<p>折れた主幹部分。 オニヒヨウタンボクNo.8は一番 活力度が高く、萌芽もたくさん 見られることから、損傷した主 幹を切断し、切断部分より下 の萌芽が成長して復活するこ とを期待した。</p>	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	H28.6.24
	<p>移植個体の状況確認 (任意確認)  赤く熟した果実。</p>	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-6
	撮影日	H28.4.12
	<p>挿し木(H28.3.30実施)後の状 況  芽吹いている。発根は未確 認。</p>	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-7
	撮影日	H28.5.2
	挿し木(H28.3.30実施)後の状 況  展葉始まる。発根は未確認。	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-8
	撮影日	H28.6.3
	挿し木(H28.3.30実施)後の状 況  一部の葉先に枯れた部分が 見られる。発根は未確認。	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-9
	撮影日	H28.4.12
	播種した種子の状況確認 (プランターへの播種)  芽生えを8個体確認。	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-10
	撮影日	H28.4.12
	播種した種子の状況確認 (床蒔き)  芽生えを3個体確認。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-11
	撮影日	H28.5.2
	播種した種子の状況確認 (プランターへの播種)  芽生えを10個体確認(2個体 増加)。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-12
	撮影日	H28.5.2
	播種した種子の状況確認 (床蒔き)  芽生えを1個体確認(2個体減 少)。	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-13
	撮影日	H28.6.3
	播種した種子の状況確認 (プランターへの播種)  芽生えは9個体(1個体減少)。	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-14
	撮影日	H28.6.3
	播種した種子の状況確認 (床蒔き)  芽生えは1個体。	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	H28.5.17
	生育個体の確認 平成27年度移植場所の生育 個体の確認 ギンランの生育は確認できな い。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	H28.5.17
	生育個体の確認 平成28年度の新規生育個体 を確認。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-3
	撮影日	H28.5.23
	有識者によるギンランの確認 長野県植物研究会会長の中山 洸氏にギンランを確認して いただいた。	

## 環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>ギンラン</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ギンラン
保 全 対象種	ギンラン		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ギン-4</td> </tr> </table>	写 真 番 号	ギン-4
写 真 番 号	ギン-4		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.6.3</td> </tr> </table>	撮影日	H28.6.3
撮影日	H28.6.3		
	<p>平成28年度の新規生育確認 個体</p> <p>花期を過ぎていた。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>ギンラン</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ギンラン
保 全 対象種	ギンラン		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ギン-5</td> </tr> </table>	写 真 番 号	ギン-5
写 真 番 号	ギン-5		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.6.6</td> </tr> </table>	撮影日	H28.6.6
撮影日	H28.6.6		
	<p>平成28年度新規生育確認個 体の移植作業</p> <p>移植元の周囲掘削作業</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>ギンラン</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ギンラン
保 全 対象種	ギンラン		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ギン-6</td> </tr> </table>	写 真 番 号	ギン-6
写 真 番 号	ギン-6		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.6.6</td> </tr> </table>	撮影日	H28.6.6
撮影日	H28.6.6		
	<p>平成28年度新規生育確認個 体の移植作業</p> <p>ギンランの移植作業完了</p>		

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ノジトラノオ
	写 真 番 号	ノジ-1
	撮影日	H28.5.23
<p>事業実施区域に隣接する林縁部(変更区域外)にノジトラノオ(環境省レッドリスト2014の絶滅危惧Ⅱ類(VU)、長野県レッドリスト2014の絶滅危惧Ⅱ類(VU))の生育を確認した。事業実施による影響は少ないと考えられるが、踏みつけ等防止のために周辺の枯れ木等除去や枠囲いを施すこととした。</p>		
	保 全 対象種	ノジトラノオ
	写 真 番 号	ノジ-2
	撮影日	H28.5.26
<p>ノジトラノオ自生地(変更区域外)周辺の枯れ木等除去及び枠囲い作業  作業後</p>		
	保 全 対象種	ノジトラノオ
	写 真 番 号	ノジ-3
	撮影日	H28.6.3
<p>ノジトラノオ自生地(変更区域外)の状況確認(任意確認)  ノジトラノオの生育に異常は見られない。</p>		

# 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-1
	撮影日	H28.5.2
	ベニモンマダラ(幼虫)の食草 クサフジの追加移植  昨年11月に整備して播種した ベニモンマダラ移植先(平尾 用水左岸法面)のクサフジの 生育状態が悪いことから、ベ ニモンマダラ自生地からクサ フジの苗を採取して移植先に 補植した。	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	H28.5.2
	ベニモンマダラ(幼虫)の食草 クサフジの追加移植  採取したクサフジの苗	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-3
	撮影日	H28.5.2
	ベニモンマダラ(幼虫)の食草 クサフジの追加移植  移植作業	



# 環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ベニモンマダラ
保 全 対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ベニ-4</td> </tr> </table>	写 真 番 号	ベニ-4
写 真 番 号	ベニ-4		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.5.2</td> </tr> </table>	撮影日	H28.5.2
撮影日	H28.5.2		
	<p>ベニモンマダラ移植先におけるクサフジの生育確認</p> <p>播種箇所①</p> <p>赤丸は発芽個体</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ベニモンマダラ
保 全 対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ベニ-5</td> </tr> </table>	写 真 番 号	ベニ-5
写 真 番 号	ベニ-5		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.5.17</td> </tr> </table>	撮影日	H28.5.17
撮影日	H28.5.17		
	<p>クサフジの追加移植</p> <p>5月2日に追加移植したクサフジに枯死個体が見られるため、2回目の追加移植を行った。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ベニモンマダラ
保 全 対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ベニ-6</td> </tr> </table>	写 真 番 号	ベニ-6
写 真 番 号	ベニ-6		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.5.17</td> </tr> </table>	撮影日	H28.5.17
撮影日	H28.5.17		
	<p>クサフジの追加移植</p> <p>補植したクサフジ</p>		



## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-7
	撮影日	H28.5.17
	ベニモンマダラ移殖(クサフジ 播種、クサフジ補植)先の全景	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-8
	撮影日	H28.5.23
	ベニモンマダラ(幼虫)の移殖 作業  移殖元のベニモンマダラ幼虫	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-9
	撮影日	H28.5.23
	ベニモンマダラ(幼虫)の移殖 作業  移殖先(平尾用水左岸法面) への幼虫移殖	

# 環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-10</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-10
写真番号	ベニ-10		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.5.23</td> </tr> </table>	撮影日	H28.5.23
撮影日	H28.5.23		
	<p>ベニモンマダラ(幼虫)の移殖作業</p> <p>有識者(長野県植物研究会会長の中山洸氏)にクサフジ移殖に対してのアドバイスを受けた。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-11</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-11
写真番号	ベニ-11		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.5.31</td> </tr> </table>	撮影日	H28.5.31
撮影日	H28.5.31		
	<p>ベニモンマダラ(幼虫)の移殖作業</p> <p>121個体の幼虫を移殖元で採取し、移殖先(平尾用水左岸法面)のクサフジの生育が不良であることから、代替移殖先として佐久スキーガーデンパラダのスキー場ゲレンデと「県道草越豊昇佐久線」脇法面のクサフジ自生地に移殖した。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-12</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-12
写真番号	ベニ-12		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.5.31</td> </tr> </table>	撮影日	H28.5.31
撮影日	H28.5.31		
	<p>ベニモンマダラ(幼虫)の移殖作業</p> <p>「県道草越豊昇佐久線」脇法面へ幼虫45個体を移殖</p>		


# 環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-13</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-13
写真番号	ベニ-13		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.5.31</td> </tr> </table>	撮影日	H28.5.31
撮影日	H28.5.31		
	<p>ベニモンマダラ(幼虫)の移殖作業</p> <p>佐久スキーガーデンパラダのスキー場ゲレンデへ幼虫40個体を移殖</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-14</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-14
写真番号	ベニ-14		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.6.3</td> </tr> </table>	撮影日	H28.6.3
撮影日	H28.6.3		
	<p>平成27年12月2日にポットへクサフジ播種後の状況確認</p> <p>クサフジの実生6個体確認</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>ベニモンマダラ</td> </tr> </table>	保全対象種	ベニモンマダラ
保全対象種	ベニモンマダラ		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>ベニ-15</td> </tr> </table>	写真番号	ベニ-15
写真番号	ベニ-15		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H28.6.10</td> </tr> </table>	撮影日	H28.6.10
撮影日	H28.6.10		
	<p>ベニモンマダラ(幼虫)の追加移殖作業</p> <p>佐久スキーガーデンパラダのスキー場のゲレンデへ全個体を移殖</p>		

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-1
	撮影日	H28.6.24
	<p>クリイロベッコウ移殖先の生息 個体確認調査</p> <p>クリイロベッコウの生息基盤 (落ち葉と表土)の移殖先(対 象事業実施区域の南東側落 葉広葉樹林内)</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-2
	撮影日	H28.6.24
	<p>クリイロベッコウ移殖先の生息 個体確認調査</p> <p>対象事業実施区域の南東側 落葉広葉樹林内ではクリイロ ベッコウの生貝1個体、死貝1 個体を確認した。</p> <p>写真は生貝</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-3
	撮影日	H28.6.24
	<p>クリイロベッコウ移殖先の生息 個体確認調査</p> <p>クリイロベッコウの生息基盤 (落ち葉と表土)の移殖先(対 象事業実施区域の北東側落 葉広葉樹林内)</p>	

## 環境保全措置実施状況写真

	保全対象種	クリイロベッコウ
	写真番号	クリ-4
	撮影日	H28.6.24
	クリイロベッコウ移殖先の生息 個体確認調査  対象事業実施区域の北東側 落葉広葉樹林内ではクリイロ ベッコウの死貝2個体を確認し た。  殻径はともに約5.4mm	

# 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-1
	撮影日	H28.5.10
	定点観察実施状況 主対象：ハイタカ、ノスリ	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-2
	撮影日	H28.5.10
	N1ノスリ面替ペア巣 ノスリによる営巣を確認 ノスリ成鳥(雌雄不明)による 餌運びが確認された。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-3
	撮影日	H28.5.11
	定点観察実施状況 主対象：ハイタカ、ノスリ	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-4
	撮影日	H28.6.3
	<p>新たな古巣(遠景) 対象事業実施区域の南東約250m付近に新たな古巣を確認したが、猛禽類等の使用はなかった。 伐採作業による影響はない。</p>	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-5
	撮影日	H28.6.13
	<p>N8ハチクマ古巣(近景) 営巣していない。</p>	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-6
	撮影日	H28.6.14
	<p>定点観察実施状況 主対象:ハチクマ</p>	





伐採着工前・完了写真  
着工前



伐採完了





写真区分: 施工状況写真  
工種: 準備工  
種別: 伐木・除根  
細別: 伐採  
写真タイトル: 伐採状況  
撮影箇所: 現場にて



写真区分: 施工状況写真  
工種: 準備工  
種別: 伐木・除根  
細別: 伐採  
写真タイトル: 伐採状況  
撮影箇所: 現場にて



写真区分: 施工状況写真  
工種: 準備工  
種別: 伐木・除根  
細別: 伐採  
写真タイトル: 伐採状況  
撮影箇所: 現場にて



写真区分: 施工状況写真  
工種: 準備工  
種別: 伐木・除根  
細別: 伐採  
写真タイトル: 除草作業状況  
撮影箇所: 現場にて



写真区分: 施工状況写真  
工種: 準備工  
種別: 伐木・除根  
細別: 伐採  
写真タイトル: 除草作業状況  
撮影箇所: 現場にて



写真区分: 施工状況写真  
工種: 準備工  
種別: 伐木・除根  
細別: 除根  
写真タイトル: 除根状況  
撮影箇所: 現場にて



写真区分: 施工状況写真  
工種: 準備工  
種別: 伐木・除根  
細別: 除根  
写真タイトル: 除根状況  
撮影箇所: 現場にて



写真区分:使用機械写真  
 工種:バックホウ(バケット  
 ハンド型)  
 種別:313DCR  
 写真タイトル:使用機械(排  
 対型・低騒音型)  
 撮影箇所:現場にて



写真区分:使用機械写真  
 工種:バックホウ(バケット  
 ハンド型)  
 種別:313DCR  
 写真タイトル:使用機械(排  
 対型・低騒音型)  
 撮影箇所:現場にて



写真区分:使用機械写真  
 工種:バックホウ(バケット  
 ハンド型)  
 種別:313DCR  
 写真タイトル:使用機械(排  
 対型・低騒音型)  
 撮影箇所:現場にて

# ◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

## 1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

区分	平成26年度												平成27年度												平成28年度												平成29年度					平成30年度					平成31年度																															
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2																								
環境影響評価 手続	★ 準備書 公告・縦覧												★ 準備書 県知事意見												★ 評価書 公告・縦覧												★ 施工状況 等報告書					★ 施工状況 等報告書					★ 施工状況 等報告書					★ 施工状況 等報告書					★ 施工状況 等報告書					★ 施工状況 等報告書					★ 施工状況 等報告書											
都市計 画決定 手続等													都市計画決定手続 ★ 都市計画案 公告・縦覧												★ 都市計画 審議会 決定												★ 都市計画 決定					★ 都市計画 決定					★ 都市計画 決定					★ 都市計画 決定					★ 都市計画 決定																					
施設用 地造成 工事													地質調査												★ 事業者 決定												★ 事業者 決定					★ 事業者 決定					★ 事業者 決定					★ 事業者 決定					★ 事業者 決定																					
施設本 体建設 工事	★ 事業方式 (DEO)決定												★ 事業方式 検討調査												★ 実施方針 公表												★ 要求水準書 案等公表												★ 入札公告					★ 入札公告					★ 入札公告					★ 入札公告					★ 入札公告					★ 入札公告				

## 2. 対象事業の実施状況一覧

年 度 回 数 報 告 対 象 期	平成27年度				平成28年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】 平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】 造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】 平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】 造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】 平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】 造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】 平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体設計工事】 平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】 6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体設計工事】 平成28年4月28日付で入札参加表明を締切り、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。			
年 度 回 数 報 告 対 象 期	平成29年度				平成30年度			
第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～10月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月		
実施状況								